

JENESYS²⁰¹⁹ 公益財団法人日韓文化交流基金 企画競争公募事業

第26回「日韓高校生交流キャンプ」開催報告

当協会および韓日経済協会では、『第26回日韓高校生交流キャンプ』を8月5日～8月9日の4泊5日間、韓国ソウルにて開催しました。

両協会では日韓青少年交流事業として2004年1月から日韓高校生交流キャンプを始めて、今回で26回目、延べ2,353人の交流実績となりました。なお、キャンプ参加者はキャンプ後も交流を続け、2006年から自主的にOB/OG会を結成して、更なる交流と理解を深め合う活動を続けています。

このキャンプは、将来の両国経済界を担うであろう日韓の高校生を対象にしています。

韓国の首都ソウルにて開催した「第26回日韓高校生交流キャンプ」では、両国高校生が10人前後の日韓混成チームに分かれ、韓国経済・文化の現場体験を行いました。その体験学習を基に、日韓両国の新たな未来へつながる、かつ継続可能な交流を見据えた新ビジネス案を企画・発表しました。

今回は日本側から30校30名、韓国側から22校30名、合わせて52校60名の日韓高校生が参加しました。なお、キャンプOB/OGの大学生も運営ボランティアとして参加しました。

- 会 場： 韓国ソウル「ハイソウル・ユースホステル」
- 期 間： 2019年8月5日(月)～8月9日(金)・4泊5日
- 参 加 者： 高校生60名(日本側30名、韓国側30名)
- 事業形態： JENESYS2019 [公益財団法人日韓文化交流基金 企画競争公募事業]
- 主 催： 一般社団法人日韓経済協会、社団法人韓日経済協会
- 後 援： 外務省
- 協 力： 株式会社JTB、三養グループ、東遠グループ、ロッテグループ、
ペストウェスタンコリア、社団法人韓日文化・産業交流協会、株式会社ツアー2000
- 運 営： IVITT 研究所株式会社

第26回「日韓高校生交流キャンプ」プログラム					
時間	8. 5 (月)	8. 6 (火)	8. 7 (水)	8. 8 (木)	8. 9 (金)
07:00	日本学生出国 羽田空港 ➤ 金浦空港 OZ1075	朝食	朝食	朝食	朝食 チェックアウト 移動
08:00		韓国経済 現場体験	事業発表準備	事業発表リハーサル	韓国文化体験 [キムチ作り] 昼食
09:00				事業発表会	
10:00					昼食
11:00			市場調査	表彰及び修了式	
12:00		事業案の決定 事業発表準備			事業発表準備
13:00			昼食	昼食	
14:00	日韓学生会場へ移動	事業案の決定 事業発表準備	事業発表準備	記念写真撮影 JKSFF/KJSFF紹介 友達に一言! Action plan発表 アンケート	日韓学生お別れ
15:00	日韓学生会場集合				日本学生帰国 金浦空港 ➤ 羽田空港 OZ1045
16:00	オリエンテーション				
17:00	夕食				夕食
18:00	友達作り	ゴールデンベル (クイズ大会)	事業発表準備 事業発表リハーサル	Finale Festival 両国伝統遊び 写真スライドショー	
19:00	事業アイテム構想	事業発表準備			
20:00					
21:00	就寝	就寝	就寝	就寝	



初日、韓国ソウルの会場に参加者が集まり、「オリエンテーション」で5日間のキャンプがスタートしました。続いて行われた「友達づくり」プログラムでは、チーム毎に自己紹介を行ったり、用意してきた写真を見せ合ったりしながら、日本語・韓国語・英語またはボディーランゲージ交じりでお互いに何とか意思疎通を図ろうとする姿が見られました。

二日目、「韓国経済現場体験」として、チームの事業カテゴリー別に、[食品]チームは三養 F&B と東遠 F&B を、[サービス]チームはロッテホテルシグニエルソウルとソウルガ



ーデンホテルを、[観光・イベント]チームはツアー2000 と韓日文化・産業交流協会を訪れ、其々該当する事業に関する講話や職員インタビュー、また現場での仕事を直接体験することで、新たな事業を企画するための様々な情報を収集しました。

夕食後は、日韓でペアを組んで挑む、勝ち抜きクイズ大会の「ゴールデンベル」を行いました。チーム以外の参加者との交流を深める機会にもなり、大いに盛り上がりました。

三日目、全員で会場近くのショッピングモールに出かけ、レストランにて昼食をとってから、モール内で「**韓国市場調査**」を行いました。会場に戻ってからは、事業発表会の準備作業を行いました。事業戦略を練り、翌日の事業発表会に向けてPPT資料や広報物の作成、コマーシャル動画の撮影と編集、小物づくり等、熱気を帯びた協働作業が続きました。チームで一つの結果を出すべくアイデア集約や意見調整等、限られた時間を精一杯活用し、討議と作業に没頭していました。



四日目、いよいよ「**事業発表会**」の日です。持ち時間は各チーム15分、夜通し準備したビジネス企画を発表し、質疑応答も活発に行われました。審査員として、日韓経済協会 是永和夫 専務理事、韓日経済協会 徐 錫崇 常勤副会長、ソウルジャパクラブ 森山 朋之 理事長(韓国三井物産株式会社 代表理事社長)、日本商工会議所 ソウル事務所 橋爪 孝徳 所

長、HIKARI 情報株式会社 奇 秉泰 会長、全国経済人連合会 丁 鳳鎬 チーム長、韓日経済協会 趙 徳卯 事務局長の7名の方々が、各チームの真面目で一生懸命な発表に報いるべく真剣に審査を行いました。

審査の結果、**最優秀賞**は「**屋台交換**」と題した韓国の夜市と日本の祭りの屋台をそれぞれ1週間ほど交換、また互いの正しい食文化を理解するため現地の人がそれぞれ訪問販売を行う事業を企画したチームに決まりました。



優秀賞は、「**韓国の休日**」と題したワークライフバランスを求め余暇の過ごし方を模索している現代の日本人のため、外国の一般人の生活から学べるツアーを企画したチームと、「**Cooking Angel**」と題した食べ残しの排出量を減らすため、残った食べ物で新しい料理を作るレシピを一般人が作り、アップデートや共有ができるアプリケーションを企画した

チームが受賞しました。また、**審査員特別賞、チームワーク賞、人気賞**がそれぞれ表彰され、最後に参加者全員にキャンプ修了証が渡されました。

表彰式の後には、今回の経験を活かしてこれから日韓交流のために具体的に何をするのかについて考えて発表する「**Action Plan 発表**」や参加者同士で寄せ書きを贈り合う「**友達に一言**」、またこの4日間のキャンプの様子をスタッフの撮った写真で振り返ってみる「**写真スライドショー**」で盛り上がりました。



その後、「**Finale Festival**」が始まり、参加者による歌や踊りなど多彩な特技が次々と披露され、盛り上がりも最高潮に達しました。また、日本の浴衣および韓国の韓服(ハンボク)を各々相手国の学生が着る「**両国伝統衣装ファッションショー**」も行われました。事業発表の緊張からの開放感を満喫していました。



最終日、「**韓国文化体験**」として、東遠F&Bの鎮川工場を訪れ、韓国伝統食品のキムチ作りを体験しました。昼食の後、いよいよ両国学生お別れの時が訪れました。両国参加者共に分かれ難く、抱き合っ泣きながら、再会の日を約束し合う光景が多く見受けられました。こうして4泊5日間のキャンプ全日程を無事に終了し、参加者は皆それぞれの思い出を胸に家路につきました。

以上